

# CASBEE<sup>®</sup> さいたま2016年版 | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEEさいたま2016年版 使用評価ソフト: CASBEEさいたま2016ver.1.0

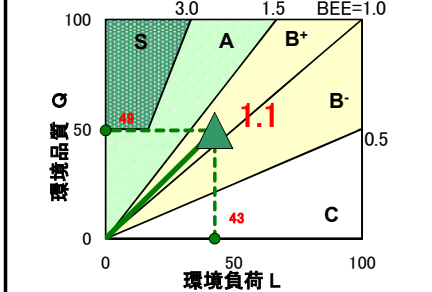
1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)鹿手袋二丁目計画	階数	地上6F
建設地	さいたま市南区鹿手袋二丁目826番	構造	RC造
用途地域	第2種住居地域	平均居住人員	259 人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年1月 予定	評価の実施日	2017年11月1日
敷地面積	2,733 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社NEOデザイン
建築面積	1,393 m <sup>2</sup>	確認日	2017年11月1日
延床面積	5,805 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社NEOデザイン



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.1** ★★★★★☆☆☆☆

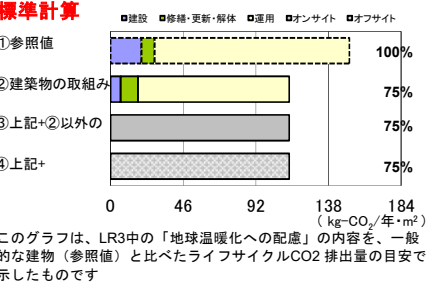
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★



### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

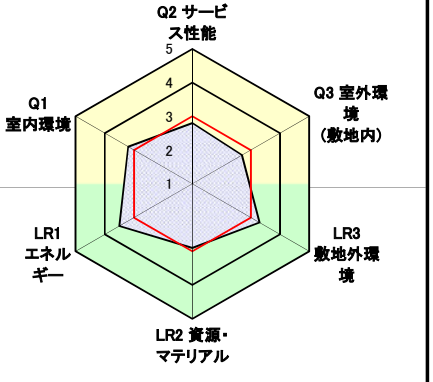
標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★



このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比したライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

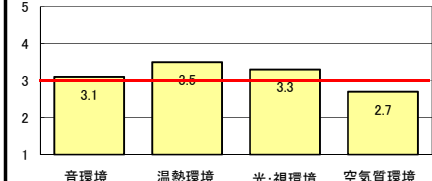


### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.9**

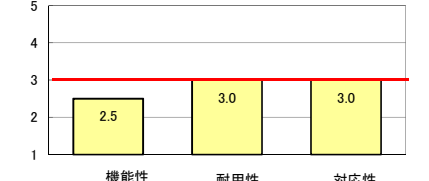
#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2



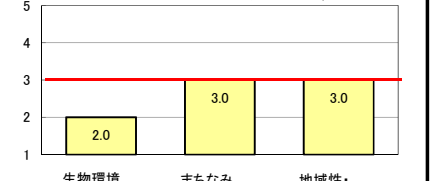
#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8



#### Q3 室外環境(敷地内)

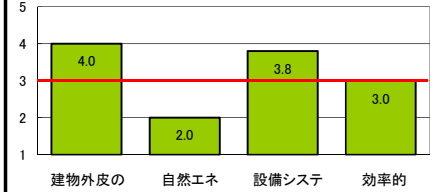
Q3のスコア = 2.7



**LR のスコア = 3.2**

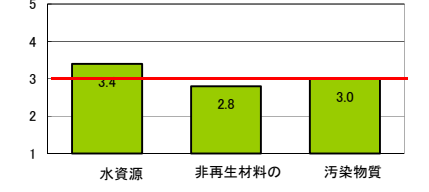
#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5



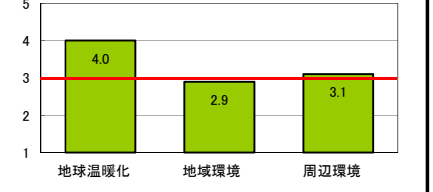
#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9



#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3



3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
前面道路から建物をセットバック・斜め屋根を採用し、車寄せ部分に植栽を計画する等、周辺環境に配慮する。		
<b>Q1 室内環境</b> 内装材はすべてF☆☆☆☆を採用し、室内環境向上に配慮する。	<b>Q2 サービス性能</b> 品確法によるコンクリートの評価方法基準で等級3相当としている。階高を2.9m以上とし空間のゆとりを配慮する。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 防犯カメラを設置し防犯性に配慮する。多様な植物を用いた緑地を計画し敷地内の自然環境保全に配慮する。
<b>LR1 エネルギー</b> 日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」等級4を取得予定。設置される照明設備にLEDを採用することにより省エネルギーに配慮する。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 節水型便器の採用。LGSの採用により解体時の躯体と仕上材の分別が容易。	<b>LR3 敷地外環境</b> 居住者のための適切な量の自転車置場を計画。ゴミ置場を敷地内に計画し、多種別が可能なストックスペースを計画。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される